

外部委託業者の募集

References: IO/23/OT/10025380/ADC

“Supply of TF Coil Frames”

(TF コイルフレームの供給)

IO 締め切り 2023 年 1 月 30 日(月)

○はじめに

この事前情報通知 (PIN) は、サービス契約の締結と履行につながる公開入札調達プロセスの最初のステップです。

本文書の目的は、業務の範囲と入札プロセスの観点から、技術的内容の基本的な概要を提供することです。

○背景

ITER プロジェクトは、欧州連合 (EURATOM が代表)、日本、中華人民共和国、インド、大韓民国、ロシア連邦、米国の 7 加盟国が共同出資する国際研究開発プロジェクトです。欧州では、ITER 機構 (IO) の本部 (HQ) の所在地でもあるフランス南部のサンポール・レ・デュランスに ITER が建設されています。

プロジェクトの組織的側面と技術的側面の両方をカバーする ITER プロジェクトの詳細な説明については、www.iter.org を参照してください。

○作業範囲

現在の入札プロセスでは、TF コイル用に準備されたフレームのオンサイトでの輸送と保管のための調達契約の設定を目指しています。2つのフレームが必須で他の2つはオプションとなります。

○調達の目的とプロセス

目的は、競争入札プロセスを通じて業務契約を落札することです。

この入札のために選択された調達手続きは公開入札手続きと呼ばれます。

オープン入札手順は、次の 4 つの主要なステップで構成されています。

➤ ステップ 1-事前情報通知 (PIN)

事前情報通知は公開入札プロセスの第一段階です。IO は、関心のある候補企業に対し、以下の概略日程に示された期日までに担当調達担当官に以下の情報を提出し、競争プロセスへの関心を示すよう正式に要請します。

特に注意:

関心のある候補企業は、IO Ariba の電子調達ツール「IPROC」に登録してください (まだ登録していない場合)。手順については、<https://www.iter.org/fr/proc/overview> を参照してください。

Ariba (IPROC) に登録する際には、お取引先様に最低 1 名の担当者の登録をお願いします。この連絡担当者は、提案依頼書の発行通知を受け取り、必要と思われる場合は入札書類を同僚に転送することができます。

➤ ステップ 2-入札への招待

関心のある候補企業の完全登録後、提案依頼書 (RFP) を「IPROC」に掲載します。この段階では、担当の調達担当者に関心を示し、かつ IPROC に登録している関心のある候補企業は、RFP が公表された旨の通知を受けることができます。その後、RFP に詳述されている入札説明書に従って提案書を作成し、提出します。

このツールに登録されている企業のみが入札に招待され、登録されている企業は、自社の名前でのみ提案を提出できます。

➤ ステップ 3-入札評価プロセス

入札者の提案は、IO の公平な評価委員会によって評価されます。入札者は、技術的範囲に沿って、かつ、RFP に記載された特定の基準に従って作業を実施するために、技術的遵守を証明する詳細を提供しなければなりません。

➤ ステップ 4-落札

認定は、公開されている RFP に記載されている、コストに見合った最適な価格または技術的に準拠した最低価格に基づいて行われます。

○概略日程

概略日程は以下の通りです：

マイルストーン	暫定日程
事前指示書 (PIN) の発行と IO の Web ページ掲載	2023 年 1 月 16 日
関心表明フォームの提出	2023 年 1 月 30 日
入札への招待 (ITT) アナウンス	2023 年 1 月 31 日
明確化のための質問 (もしあれば)	2023 年 2 月 14 日
入札提出	2023 年 2 月 28 日
入札評価と契約授与	2023 年 3 月 14 日
契約調印	2023 年 3 月 24 日

○契約期間と実行

ITER 機構は、2023 年の 3 月中旬に契約を締結します。契約は、20 週の推定期間となります。

○経験

入札者は、TF コイルフレームの製造とリフティングに関する経験と知識があることを実証しなければなりません。

ITER の公用語は英語です。すべての管理と調整の役割には、流暢な専門家レベル（口頭と書面）が必要です。

○候補

参加は、個人またはグループ/コンソーシアムに参加するすべての法人に開放されます。法人とは、法的権利及び義務を有し、ITER 加盟国内に設立された個人、企業又は機構をいいます。

法人は、単独で、またはコンソーシアムパートナーとして、同じ契約の複数の申請または入札に参加することはできません。共同事業体は、恒久的な、法的に確立されたグループ又は特定の入札手続のために非公式に構成されたグループとすることができます。

コンソーシアムのすべての構成員(すなわち、リーダーと他のすべてのメンバー)は、ITER 機構に対して連帯して責任を負います。

コンソーシアムとして許可されるために、その点で含まれる法人はコンソーシアムの各メンバーをまとめる権限をもつリーダーをもたなければなりません。このリーダーはコンソーシアムの各目メンバーのために責任を負わなければなりません。

指名されたコンソーシアムのリーダーは、入札段階でのカバーレター(入札への招待)で、コンソーシアムのメンバーの構成を説明する予定です。その後、候補者の構成は、いかなる変更も ITER 機構に通知することなく変更してはなりません。かかる認可の証拠は、すべてのコンソーシアムメンバーの法的に授権された署名者が署名した委任状の形式で、しかるべき時期に IO に提出しなければなりません。

<https://ejje.weblio.jp/>

どのコンソーシアムメンバーも IPROC に登録する必要があります。

【※ 詳しくは添付の英語版技術仕様書「**Supply of TF Coil Frames**」をご参照ください。】

ITER 公式ウェブ <http://www.iter.org/org/team/adm/proc/overview> からアクセスが可能です。

「核融合エネルギー研究開発部門」の HP : <http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/index.html>
では ITER 機構からの各募集 (IO 職員募集、IO 外部委託、IO エキスパート募集) を逐次更新しています。ぜひご確認ください。